

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

[関連情報](#)

## 概要

NetMeeting または同種のサードパーティ製 H.323 デバイスから Cisco IOS® ゲートウェイを経由して公衆電話交換網 (PSTN) に発信する ISDN コールに関して問題が報告されています。これらのコールは設定段階で失敗します。この問題は通常、ゲートウェイで Cisco IOS ソフトウェアのアップグレードを実行した後に見られます。

bearer capability ( bearer cap ) は、特定のコールの特性を定義する ISDN レイヤ 3 サービスの属性です。コールの bearer cap は Q.931 SETUP メッセージ内で指定され、音声コールとデータコールの各種タイプを区別するために使用されます。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 問題

この場合、コールは情報転送機能は制限されていないデジタル情報のために設定されることを ISDN Q.931 セットアップメッセージのベアラケーパビリティが不正確に示すので失敗します。これが起こる原因は、発信側 H323 デバイスが H225 SETUP メッセージ内に非制限デジタル情報

の bearer cap を設定するためです。ゲートウェイはその情報を ISDN スイッチ/PBX に Q.931 SETUP メッセージで透過的に渡します。スイッチ/PBX はこの bearer cap を処理できないため、コールが拒否されます。

以前の Cisco IOS ソフトウェア リリースでは、ゲートウェイはスピーチ/オーディオを示すためにベアラケーパビリティを上書きします。しかし、最近のリリースでは、ゲートウェイは bearer cap を上書きしません。

音声コールのためのよくあるベアラケーパビリティはこの表の最初の 4 つの行で示されています。残りの 3 つの行はコールを引き起こす場合があるよくあるベアラケーパビリティを示します。サードパーティ H.323 デバイスから失敗するために起きる。

この表はいくつかのよくあるベアラケーパビリティを要約したものです:

bearer cap	情報転送能力	ユーザ情報レイヤ 1 プロトコル
0x8090A2	音声	G.711 u-Lawスピーチ
0x8090A3	音声	G.711 A-law
0x9090A2	3.1 KHz オーディオ	G.711 u-Lawスピーチ
0x9090A3	3.1 KHz オーディオ	G.711 A-law
0x8890A2	非制限デジタル情報	G.711 u-Lawスピーチ
0x8890A3	非制限デジタル情報	G.711 A-law
0x8890	非制限デジタル情報	64 キロビット/秒 (64k データ呼び出し)

これは失敗したコールを示す出力される debug isdn q931 の例です。この出力から、スイッチ/PBX は CALL PROCEEDING メッセージの直後にコールをクリアーしていることがわかります。接続解除 メッセージ 原因コードは変わることができます。コモン コーズ コードは無効な情報要素内容および不適合 デステイネーションが含まれています。

```
!--- Action: A NetMeeting call is placed !--- to the PSTN through a Cisco IOS gateway.!---
Outgoing Q.931 SETUP message.Aug 8 19:29:59.546: ISDN Se0:23: TX -> SETUP pd = 8 callref =
0x0001Aug 8 19:29:59.546: Bearer Capability i = 0x8890A2!--- Bearer cap indicates the
call carries the "Unrestricted Digital Information" !--- transfer capability.Aug 8 19:29:59.550:
Channel ID i = 0xA98397Aug 8 19:29:59.550: Calling Party Number i = 0x00, 0x80, '3555',
Plan:Unknown, Type:UnknownAug 8 19:29:59.550: Called Party Number i = 0x80, '95551212',
Plan:Unknown, Type:UnknownAug 8 19:29:59.610: ISDN Se0:23: RX <- CALL_PROC pd = 8 callref =
0x8001Aug 8 19:29:59.610: Channel ID i = 0xA98397Aug 8 19:29:59.806: ISDN Se0:23: RX
<- DISCONNECT pd = 8 callref = 0x8001!--- Call is cleared by the switch or PBX.Aug 8
19:29:59.810: Cause i = 0x82E4 - Invalid information element contentsAug 8 19:29:59.814: ISDN
Se0:23: TX -> RELEASE pd = 8 callref = 0x0001Aug 8 19:29:59.850: ISDN Se0:23: RX <-
RELEASE_COMP pd = 8 callref = 0x81!--- Call is cleared for the cause Incompatible
destination.Aug 8 20:30:11.820: Cause i = 0x80D8 - Incompatible destinationAug 8 20:30:11.836:
ISDN Se0:23: TX -> RELEASE pd = 8 callref = 0x0001Aug 8 20:30:11.852: ISDN Se0:23: RX <-
RELEASE_COMP pd = 8 callref = 0x81
```

## 解決策

## 解決策 1

H.225 セットアップメッセージの適切なベアラケーパビリティを設定するために H.323 発生デバイスを設定して下さい。

## 解決策 2

H.323 発生デバイスが再構成することができない場合 ISDN Q.931 セットアップメッセージのベアラケーパビリティを上書きするために Cisco IOS ゲートウェイ設定を修正して下さい。voice-port 設定モード コマンドの bearer-cap を使用して、speech または 3100hz オーディオを適宜設定します。

```
!--- This is an example of how to configure the bearer cap parameter !--- on a Cisco AS5300.esc-5300-2(config)#voice-port 0:Desc-5300-2(config-voiceport)#bearer-cap ? 3100hz enable 3100hz speech enable speechesc-5300-2(config-voiceport)#bearer-cap speech!--- Sample output of the IOS configuration !--- <some output omitted>.!voice-port 0:D bearer-cap Speech!
```

注H.323 バージョン 4 がルータで動作する Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(11)T を実行する場合、NetMeeting とのトラブルを経験できます。詳細は Cisco バグ ID [CSCdw49975](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) で囲まれています。

## 関連情報

- [Microsoft NetMeeting を Cisco IOS Gateway に設定する方法](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#) 
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)